

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.24

2003. 8. 1 発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2-2511

このようなことが決まりました—2

委員会の活動 —————4

6 議員町の考えをただす—6

12人の新議員決まる ———10

新しい議会構成 —————12

若者が集まるリゾート地に ———14



たのしいな 夏 大すき

2,675万5千円を可決

予算総額 33億1,914万7千円に

6月定例会

補正の主なもの

児童福祉費 **259万4千円**

(子育て支援事業の講師委託料など)

農業費 **2,284万6千円**

(環境にやさしい農業を進める事業など)

教育費 **111万5千円**

(西岡教員住宅防水工事)

このようなことが決まりました

議員改選前の六月定例会は、六月四日から十三日までの十日間開かれ、十五年度補正予算、条例の一部改正、助役の選任同意など六議案を審議し、全員一致で可決しました。

一般質問は、六人の議員が町の考えをただしました。

条例の一部改正

手数料条例

新たに、住民基本台帳カード交付手数料一枚五百円を八月二十五日から徴収する。

病院事業

現在の病床六十八床を九月一日から六十床にする。

議会委員会

議員定数の二人削減により、各委員会の委員数を改める。



中田助役の
選任に同意



環境にやさしい農業を

第1回臨時会

議員定数 2人削減

五月六日に開かれ、繰越金一億六千七百万円などの十四年度補正予算と、知事選挙費四百三十九万円の十五年度補正予算が提案され、全員一致で可決しました。また、溝田、国清、川端議員から議員定数を十四人から十二人にする条例改正案が提出され、川端議員が提案理由を説明。反対、賛成の討論が行われ採決の結果、賛成八人、反対三人で削減を可決しました。

第2回臨時会

5月29日に開かれ、勝浦町国民健康保険条例の一部を改正する条例を審議し、全員一致で可決しました。

第3回臨時会

議長に溝田義昭議員 副議長に川端雅夫議員を選出



溝田議長



川端副議長

議員改選後初の臨時会が七月十四日から開かれ、議長・副議長の選出が行われました。議長選は投票となり、溝田義昭議員九票、原田昭三議員三票で、溝田議長が誕生しました。副議長は川端雅夫議員を指名推選で選出しました。

一般会計補正予算 百五万円を可決

(横瀬保育所リズム室に
エアコンを設置する)

問 今の時期になってエアコン設置とはどういうことか。

答 今までは保護者から要望がなかったが、乳幼児の保育が増えたこともあり必要となった。

全員一致で可決しました。

議会選出の 監査委員

森敏治議員の選任に
同意しました。



厚生

沼江保育所跡で英会話教室



こどものひろばとして活用される沼江保育所

五月二十三日に委員会を開き、十五年度補正予算、沼江保育所跡の子育て拠点施設の概要と、勝浦町病院事業の設置及び、管理に関する条例の一部を改正する条例などについて審議しました。

福祉課長から 子育てサークル活動の場の提供、子供の遊び場や、学習の場を求める声があり、沼江保育所跡を改築し「勝浦町こどものひろば」として活用したいとの説明がありました。

問 英会話教室を開設すると言うが、人数の確保はできるのか。

答 福祉課長 要望がたくさんある。講師は外国人に依頼したい。

病院事務局長から 医療法の改正により、十五年九月一日から、現在のベッド数六十八床を、六十床にしたいとの説明がありました。

問 病院存続のための課題は。

答 助役 事務や給食の民間委託などが今後の課題である。

委員会として 提案することを認めました。

活動報告

総務

教員住宅を一般住宅に

五月三十日に委員会を開き、十五年度補正予算などの説明があり審議しました。

建設課長から 西岡教員住宅の屋上防水工事と、側面補修工事の費用として、百一十五千円が必要との説明があり審議しました。

問 入居者もない西岡の教員住宅の防水工事をするとするが、早急に一般住宅に移行し、入居者を公募しては。

答 建設課長 九月に条例改正し、西岡、中山両教員住宅とも一般住宅にした。

委員会として 提案することを認めました。

総務課長から 十四年度の繰越明許費と、土地開発公社の経営状況、勝浦川、那賀川流域一市四町合併協議会決算書について報告がありました。

問 ナカテツは町の誘致工場である。早急に造成工事ができるよう、積極的に努力すべきでないか。

答 町長 誘致企業としていつまで支援していくか限度がある。近々、話し合いを持ちたい。

委員会として 了承しました。



一般住宅になる西岡教員住宅

産業建設

エコファーマー型 機械施設などに2,280万円

六月二十八日に委員会を開き、補正予算と坂本グリーンツーリズム事業、立川地区における建設資材置場の設置問題等の報告があり審議しました。

問 エコファーマーについての具体的な内容とメリットは。

答 産業振興課長 平成十一年に環境にやさしい農業を進めるため「持続農業法」が作られた。この法律は、化学肥料や農薬使用の低減を一体的に行う農業者に対し支援を行うもので、メリットとして農業改良資金の貸付や税制上の特例がある。

委員会として 提案すること
を認めました。



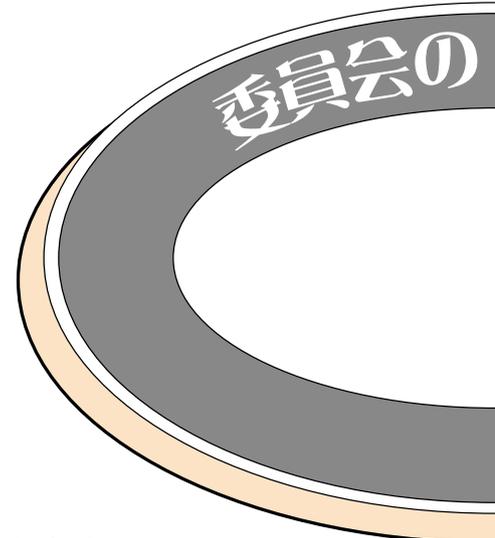
反対運動で資材置場設置を断念

問 「ふれあいの里さかもと」のPRの方法と、観光業者などからの申し込みは。

答 係長 PRについてはインターネット等で行っている。業者からの申し込みは料金が入るので入る余地がないとのことである。今後、工夫が必要と思われる。

**立川資材置場
業者が断念**

五月二十日に業者に対して地元五団体が断固反対を申し入れた結果、町に対して断念したいとの報告があり決着しました。



東部広域農道整備促進特別委員会



国で見直しが行われている広域農道

あと十年で
完了は無理では

五月二十七日、午前九時から特別委員会、午後一時三十分から、期成同盟会との合同会議、その後、県農林事務所との担当者も含めて会議を開きました。

広域農道十四年度の勝浦町分の事業実績は、事務費を含め三億一千五百万円で、町の負担金は三千三百七十五万円となっています。

十五年度の事業費は、二億三千万円の実施予定です。

国は現在、広域農道の見直しを行っており、平成二十五年までに完了させる構想であるが、徳島、佐那河内、上勝、勝浦を合わせて残りが八千七百五十mあり、七十億円の残事業費では、工法等の変更をしなければ全線開通は不可能でないかと予測されるなど、問題点は多いと思われま

財政改善対策は

行財政改革大綱見直しの最中

(町長)

中西晴美 議員



問

財政改善対策として、事業費と人件費削減の二つあるが、職員数の削減、給料やボーナスのカット、土曜日の奉仕勤務など、人件費を削減して改善すべきと思うが。

答

町長 四年前に策定した行財政改革大綱の見直しに一生懸命取り組んでいる最中であ



合併問題に答弁する倉橋助役

る。議員改選後に新しい計画を示して進めていきたい。

まず小さな合併を

選択肢の一つではある(助役)

問

交付税の削減を回避するため、上勝町との小さな合併が現実的でないか。メリットの少ないことは承知しているが、総合的に判断すれば、一番好ましいと思うが。

答

町長 住民の中にもそのような意見が多くあることは承知している。大局的に見る必

答

要もあり、総合的な判断の中でしっかりした方向づけが必要とされている。助役 上勝町との二町合併論も一つの選択肢ではあるが、問題点として、小規模町村の業務の一部を県が代行するなどの制度が検討されているのと、二町が合併しても八十二億円程度の財政規模で、町税収入が六億円程度しかなく、非常に財政基盤の弱い団体であり、財政運営面での不安は続くと思われる。

引き下げを

引き下げは適当でない

(税務課長)

原田昭三 議員



問

国保会計には、保険料収入の二年分相当、三億七千万円の基金などが貯まっている。

答

島税務課長 現在人件ドック、脳ドックを実施しているが、今後、疾病予防の検診体制をつくるなど、保健事業に積極的に取り組むたい。

問

引き下げが難しいなら、保健事業をもっと充実させてはどうか。

答

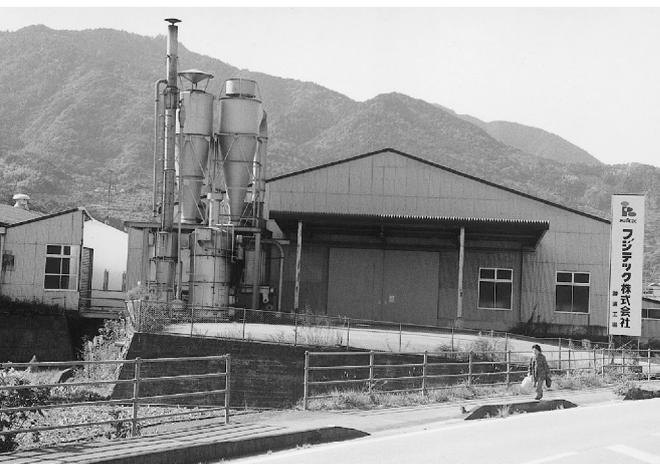
町長 介護保険はまだ新しい制度であり、ベターとはいえない。国の動向を見て決めていきたい。最低生活の保障は生活保護制度で対応している。

問

町長は今までも「減免を検討する」と答弁してきたが、どうなっているのか。

答

食事を抜いて介護保険料をけている人もいる。せめて生活ができる保険料に減免すべきと思うが。



撤退後もいろいろの問題が

国保税の

不景気で生活が厳しい上に介護保険料の引き上げもあるので、国保税の引き下げをすべきでないか。

答 島務課長 国保税は、国費と保険料で折半して賄っている。現行の法律で定めら

介護保険料

どうなった

低所得者の減免

国の動向を見ながら(町長)

誘致企業撤退

借地料の遅滞に

どう対処

問 企業を誘致する時、世話をした町が撤退後、借地料が遅滞しているのに知らん顔をして

いるのはおかしいと思うが。

答 国清産業振興課長 この用地については再三協議しているが、そんな話は聞いていない。状況を十分に聞き対応したい。

市町村合併

隣接市町は活発な動きだが

行革大綱の説明と合わせ各地区を回りたい(町長)

神原 忍 議員



問 小松島市ではアンケート調査、上勝町では二十数カ所に分けて意見を聞くなど、隣接の市町では合併の動きが活発化しているが、本町の対応は。また、その後小松島市と話し合いは持たれたのか。

答 町長 現在、対応を慎重に模索している。行財政改革大綱の見直しができ次第、町政報告という形で、合併問題も一緒に説明に各地区を回りたい。

答 助役 小松島市との接触は、その後行われていない。

町の資金繰りは

問 財政がひっ迫して、銀行から回

転資金の調達に難しい市町村もあると聞くが、勝浦町の状況は。

答 収入役 十四年度に三億八千万円が

繰り越されており、十五年度も良好な決算を保持している。また、資金繰りは国保会計の大きな繰り越しがあるので、それで収支のバランスをとっている。一時借入金も国保に助けられている現状である。

よってネ市

もつと

規模拡大を

J Aで検討してほしい(産業振興課長)

問 よってネ市の売上

げが目標を大幅に上回り、会員に入りたくても入れない人が何十人もある。また、駐車場が狭いとの不満も聞かれる。観光バスが止められる。駐車場を作るなど、規模を拡大する支援はできないか。

答 町長 費用対効果も考えながら対応する必要もあるが、最終的にはJ Aが判断することである。



売り上げが大幅に伸びているよってネ市

答 国清産業振興課長 J Aでは、よってネ市の規模拡大の考えは今のところ持っていないことだが、今後、検

討して欲しいと思っている。財政の厳しい中、町の負担は難しい。

市町村合併

早急に構想を示すべきでは

改選後に計画を示したい

(町長)

押栗義雄 議員



答 町長 今までの教訓を生かして新しい方向に取り組みたい。

水面下では他町村と接触を行っており、改選後に計画を示したい。

行財政改革 厳しい見直しを

問 十八年に最も厳しい財政状況となる

が、年次毎の財政計画の具体案を出すべきと思うが。

答 町長 行財政改革大綱の見直しを行

っているが、改革のスピード化を図りたい。

答 戸川総務課長 民営化への取り組み

も含め、組織、機構の改革を、七月十日をめどに厳しく見直しを行いたい。

建設事業

今後の取り組みは

事業の選択が必要

(町長)

問 財源難の中で建設事業は今後、町民

の要望にどのように対応していくのか。

答 町長 事業の選択が必要であり、町

単独事業についても厳しい考え方で臨みたい。

答 石尾建設課長 工

事業費の縮小に取り組みたい。

貯蔵みかん 手選別出荷の推進を

問 貯蔵みかんの販売戦略として、手選

別による味本位の出荷を推進しては。

答 国清産業振興課長

貯蔵みかんの特性を生かすため、手選別出荷に向け、生産者の理解と協力を求めていきたい。



貯蔵みかんの特性を生かした出荷を

勝浦病院

存続に向けての課題は

問 財源難や医療制度改革など、厳しい

状況下におかれている勝浦病院を存続させるための具体策は。

答 町長 外来、入院

のさらなる充実を図るため、「常勤の整形外科医と消化器内科専門医を」との病院スタッフ

からの熱心な意見もあるが、医師確保や費用対効果の問題など、今後、検討していきたい。

また、経営全てにメスを入れ、削減できるものはないか十分話し合いたい。

住民の町長批判を

どう受け止めるか

町を思ふ気持ちで粛々と取り組む

(町長)



福徳重二 議員

それをまとめて遂行するのが町長の務めである。ただ人柄が良いだけでは、その職務を全うすることはできないと思うが。

答 町長 町民の声、職員の声、議員の

ちの中で粛々と取り組んでいる。

私に至らない点もあるが、職員も一生懸命町民のための行政をするのだという自覚を持ってもらいたい。

環境保護条例の制定を

九月議会に提案する (町長)

西浜勝己 議員



体の努力に感謝したい。町に権限がない五条申請の対応についても審議を慎重にしてもらいたいと思う。

答 山平住民課長 この問題は県との十

問 最近、町民の間から町長のやり方に対してかなりの批判が聞かれる。また、職員から信頼されていないとも聞

分な連携ができていなかったことが反省点と思っている。

問 今後、このような事態が生じないための対応が必要だ。環境と水源保護条例の制定をすべきと思うが。

答 町長 九月議会に向けて環境保護条例の制定に努めたい。また、立川谷川の水質検査を行いたい。



水質検査が行われる立川谷川

くが、これでは町民が不幸になる。職員との信頼関係を築くのも町長の手腕の一つではないか。良い政策を職員に提案させ

答 山平住民課長 条例制定についての諸問題を検討し、地域指定も含めたものを考えている。

問 不法投棄に対する行政の対応策は。

答 山平住民課長 週二回のパトロールや、郵政公社外務員との委託契約による協力をお願いしている。

問 合併問題の行方は

十七年度までに全力で (町長)

問 合併問題は、各議員から数々の質問がされたが、町長の基本的な考えと、助役の見解は。

答 町長 改選後の議会で審議できるように計画を立てたい。

声などを総合的に判断して、町を治めていくことが基本である。三期目の審判を受けた自信と信念を持って、町を思う気持ち



これからの地方はどうなる

答 助役 少子高齢化、財政危機、地方分権時代の到来で、合併問題は避けて通れない。

問 具体的に機構改革も含めての見解と、これからのスケジュールについての考えは。

答 町長 どこと合併するかについては分からないが、平成十七年度までにできるような

答 大限努力したい。機構改革として、三役の見直しと課の統合を行い人員削減につなげたい。

答 戸川総務課長 早急に行財政改革大綱見直しと、合併問題を議会に図りたい。住民に対しては経過も含めて説明会を七月中旬以降に行いたい。

共に歩む町政を

6月24日に告示された勝浦町議会議員選挙で、無投票当選となった新しい議員とその抱負を議席順に紹介いたします。

議席は、年齢の若い人、当選回数のない人から順次決めています。

(カッコ内は、年齢・出身地区・当選回数)



3番議員 大西一司
(54歳・生名・1回)

輝く町、勝浦の再生をめざして町民の目線に立った行政を推進し、故郷発展のために頑張ります。



2番議員 井出美智子
(47歳・今山・1回)

女性の立場で、お年寄りや子供たち、弱い者の声を町政に届け、住民が主人公の町づくりをめざします。



1番議員 松田貴志
(27歳・棚野・1回)

住民との対話を重視し新しい勝浦の創造と、スポーツを通して世代間の交流を深め、魅力ある町づくりに取り組みます。



9番議員 森 健
(67歳・石原・3回)

町の将来を展望する中で、産業、教育、福祉がバランスのとれた発展振興を働きかけていきます。



8番議員 森 敏治
(65歳・坂本・3回)

夢と希望の持てる町づくりと、赤ちゃんからお年寄りまで安全で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。



7番議員 福德重二
(64歳・山西・3回)

地方分権、行財政改革、市町村合併など、先行き不透明な時代をしっかりと見極めながら町活性化のため努力します。

心新たに住民と

12人の新議員決まる



6番議員 溝田義昭
(61歳・横瀬・3回)

厳しい時代、住民の意見も聞きながら、明日に夢と希望の持てる町づくりのため、一生懸命取り組みます。



5番議員 国清 栄
(58歳・星谷・3回)

町の将来的確な方向づけを町民と共に考え、見出ししていきたいと思ひます。



4番議員 川端雅夫
(56歳・今山・2回)

町の将来を決める大事な時、町民の意見をよく聞き、活力ある町づくりのため、心新たに頑張ります。



12番議員 中西晴美
(80歳・中山・10回)

行財政改革と合併問題に真剣に取り組み、明るく活気のある町づくりに力を尽くします。



11番議員 西浜勝己
(67歳・棚野・9回)

地方分権の時代、勝浦町の将来に対応できる町づくりに全力をささげ、そのためまず今日一日に最善を尽くします。



10番議員 原田昭三
(74歳・中角・5回)

農業の活性化と、勝浦病院の存続や介護保険の減免制度など、福祉重点に町民が主人公の立場で頑張ります。

議会構成

改選後の臨時会で議長、副議長、各委員会委員などの選出が行われ、新しい議会構成が決まりました。

議長 溝田義昭

副議長 川端雅夫

総務常任委員会

企画、財政、税務、教育などを調査・審査

委員長 国清 栄
副委員長 森 健
委員 大西 一司
委員 西浜勝己

厚生常任委員会

社会福祉、環境衛生、病院関係などを調査・審査

委員長 福徳重二
副委員長 原田昭三
委員 井出美智子
委員 溝田義昭

産業建設常任委員会

産業振興、道路整備、災害復旧などを調査・審査

委員長 森 敏治
副委員長 川端雅夫
委員 松田貴志
委員 中西晴美

就任にあたって



副議長 川端雅夫



議長 溝田義昭



勝浦町長 川口幸一

新たななる改革に向かって

議員各位には、ご当選の栄を得られましたことにお喜びを申し上げます。

今回の選挙は、前回からさらに定数二人削減が議決された選挙であり、行財政改革、合併問題などの推進を図らなければならない重大な時、議員各位には、町民の大きな期待と信頼を受けられたものと心から敬意を表するものであります。

国においては構造改革をさらに推進する「骨太の方針」第三弾として「三位一体」改革を示し、国と地方の税財政改革、規制改革を実現し地方分権を加速させようとしております。私たちは、この改革の時代を乗り越えなければ、新たな町の発展はないものと考えております。議員各位には政治手腕を発揮され、山積する政治課題の解決と町政発展のためご尽力を賜りますと共に、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

改選後の臨時会において、議長、副議長に推挙され、その責務の重大さにご身の引き締まる思いです。

浅学非才ではありますが、力を合わせ、公正、公平で円滑な議会運営と、行政のチェック機能としての機能を十分発揮できる議会にしたいと思っております。合併問題や行財政改革など、町の将来を左右する重要な課題解決に向け、住民と行政、議会が、連携を密にして取り組んでいきたいと思っております。

今後とも、より一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

新し心

議会運営委員会

委員長 森 健
副委員長 福德重二
委員 松田貴志
委員 川端雅夫
委員 原田昭三

議会広報調査特別委員会

議会だよりの編集

委員長 国清 栄
副委員長 川端雅夫
委員 松田貴志
委員 大西一司
委員 溝田義昭

東部広域農道整備促進特別委員会

委員長 中西晴美
副委員長 森 敏治
委員 溝田義昭
委員 西浜勝己

勝浦川整備促進特別委員会

委員長 原田昭三
副委員長 福德重二
委員 井出美智子
委員 森 健
委員 中西晴美

市町村合併調査特別委員会

委員長 西浜勝己
副委員長 森 健
委員 松田貴志
委員 井出美智子
委員 大西一司
委員 川端雅夫
委員 国清 栄
委員 溝田義昭
委員 福德重二
委員 森 敏治
委員 原田昭三
委員 中西晴美

小松島市外三町村衛生組合議員

川端雅夫 溝田義昭 西浜勝己

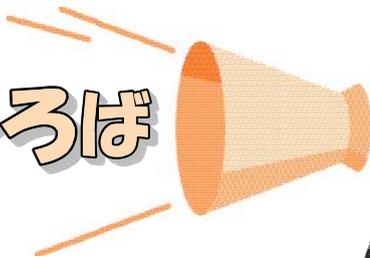
専門学校評議員

大西一司 溝田義昭 西浜勝己 中西晴美

土地開発公社理事

井出美智子 国清 栄 福德重二 中西晴美

声のひろば



若者が集まるリゾート地に



上西けい子さん(中山)
ちいさがた
 (長野県小県郡真田町出身)

Q 美しさでこの土地が好きになりました。

A 家族構成は。

Q 娘が出産で里帰りしているので、今は主人、娘、孫の四人暮らしですが、娘が帰れば孫もいなくなり寂しくなります。

Q 小松島の「肉の杉屋ルピア」に勤めています。

A 小松島の「肉の杉屋ルピア」に勤めています。

Q 趣味は。

A 家庭ミニ菜園づくりです。

Q 好きな言葉は。

A 小学生の時、先生に教えていただいた「初心忘るべからず」です。

Q 山、川など自然が美しく市内にも近いので、リゾート地として、若者たちが集まる元気な町になってほしいです。

A 山、川など自然が美しく市内にも近いので、リゾート地として、若者たちが集まる元気な町になってほしいです。



- Q 勝浦町に住むことになったきっかけは。
- A 徳島の友人の紹介で主人と知り合い、結婚しました。
- Q 勝浦町の印象は。
- A 春に嫁いできたので、梅、桜、みかんの花が咲き、その
- Q 故郷はどんなところですか。
- A 長野県の菅平高原です。海拔千百mあり、夏は東京六大学のラグビー、冬はスキー、スノーボードの若者でにぎわうところです。



編集後記

議会だより二十四号は、新議員二人をメンバーに加え、編集作業に着手しました。

特に今回は、改選後初の臨時会で議長、副議長選や委員会の構成などがあり、八月一日の発行日まで十日ほどしかありません。

全員気ばかり焦っても百家争鳴で「ちよつと一パイ」の話のようにまとまりません。

何はともあれ、新しい息吹の中の発刊となりました。

これからの「議会だよりかつら」にご期待ください。(業)



川端副委員長 満田委員 国清委員長 大西委員 松田委員